

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	グレースシア海老名	階数	地上9F
建設地	海老名駅西口土地区画整理事業施行地区内仮換地4街区1	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	460人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年7月22日
敷地面積	4,430 m ²	作成者	(株)エス・ティプランニング
建築面積	1,611 m ²	確認日	2014年7月22日
延床面積	9,750 m ²	確認者	(株)エス・ティプランニング

外観/バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: A: B+: B-: C:

環境品質 Q vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% 60% 80% 100% 100%超

建設 修繕・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト

参照値 100%

建築物の取組み 66%

上記+ 以外の 65%

上記+ 65%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.7

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
室内環境に優れ、長寿命な建物を建設する。 設備、構造、外構計画それぞれに省エネルギー化に配慮した設計を行う。 敷地内空地の確保に努め、周辺環境に配慮した計画とする。	0	
Q1 室内環境 住戸サッシに複層ガラスを採用した。 主採光面はバルコニー付とし、カーテンレールを設置する計画とした。	Q2 サービス性能 住宅性能表示制度の劣化対策等級3相当を設定した。	Q3 室外環境(敷地内) 道路からの離れを十分に確保した配棟により、街並み景観形成に配慮した。
LR1 エネルギー 住宅性能表示制度の省エネルギー対策等級4相当を設定した。 LED照明器具、燃焼系潜熱回収型給湯器を採用し、建物の省エネルギー化に配慮する。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を採用した。	LR3 敷地外環境 緑率7%以上を確保し、温熱環境悪化の改善に配慮した。 バイク置場や駐輪場の十分な確保に配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される